

介護職の魅力発信!

あなたの声が、介護職員の励みになります!

しながわふれあい メッセージ

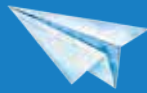
作品集



たくさんのご応募、ありがとうございました!



品川区 福祉部 高齢者福祉課



しながわふれあいメッセージ 作品集によせて

高齢化社会の進展とともに、介護人材の不足が全国的な課題となっています。品川区では、介護職を希望する方を増やすとともに、現に働いている介護職員の意欲向上を目指すために、広く区民へ介護職の魅力を発信することが重要と考え、令和4年度に「しながわ ふれあいメッセージ」事業を開始しました。

この事業は、介護サービスをご利用されている方やそのご家族から、介護サービスを利用して「助かった」「うれしかった」などのメッセージを募集し、介護職の魅力発信につながるメッセージを表彰するものです。

2回目となる今年度は119作品ものメッセージが寄せられ、選考委員会によって受賞作品が決定いたしました。この作品集では5つの受賞作品に加えて、惜しくも受賞には至らなかったものの、各選考委員から高い評価を受けた作品もご紹介しています。

これらの作品が介護職の魅力発信に大きく貢献し、品川区が掲げる「安心して高齢期を送ることのできる協働社会の創造」実現につながることを心から願っております。

品川区福祉部高齢者福祉課

サービス種別 凡例

-  居介 … 居宅介護支援
-  訪介 … 訪問介護
-  通介 … 通所介護
-  地通 … 地域密着型通所介護
-  認通 … 認知症対応型通所介護
-  特養 … 特別養護老人ホーム
(介護老人福祉施設)
-  認共 … 認知症高齢者グループホーム
(認知症対応型共同生活介護)





金賞



メッセージを書いた方 蓬田 美津代 様

サービス種別

メッセージの相手

品川区東品川在宅介護支援センター



「遠くの親類より近くの他人」と言いますが、私はケアマネさん達にどれだけ助けて頂いた事でしょう。20 年前に姑の介護で会社を辞めようとした時、「辞めないで下さい。何とか続けられる様に考えますから。」と励まされて、無事定年まで勤める事が出来ました。心から感謝しています。

そして今また、夫の介護で大変お世話になっています。昨年 12 月に乳癌の手術で入院した時の事です。私は自分の事で頭が一杯で、夫の事はケアマネさんが頼りでした。年末年始でショートステイは何処も空きがない中、手を尽くして探してくれました。しかも術後が大事だからと、私の考えている以上の日数で手続きがされていました。その優しさが身に染みて本当に嬉しかったです。

身内は心配してくれますが、実際に動けないのが現実です。ケアマネさんはどんな時も介護者に寄り添って行動してくれる心強い存在です。感謝してもしきれません。いつも支えていただき本当に有難うございます。これからもどうぞ宜しくお願いします。



メッセージを受け取られた 品川区東品川在宅介護支援センター より



「金賞」に選ばれたとの知らせを受けた時は、驚きと温かいメッセージを贈って下さったご利用者様・ご家族様への感謝の気持ちでいっぱいになりました。メッセージの中には 20 年前の担当と、現在の担当ケアマネジャーとのエピソードがありました。今も昔も、志を共に出来るチームである事を評価して頂いたようで、とても誇らしく思います。この先も常にご利用者様・ご家族様に寄り添い、伴走するケアマネジャーがいる事業所であり続けたいと思います。

銀賞

メッセージを書いた方 M 様

サービス種別

メッセージの相手

品川区立大井認知症高齢者グループホーム



母の様子がおかしいと連絡をもらい同居を始めた私。テレビなどの報道で、認知症とのかかわり方によっては本人を追いつめてしまうと聞いて、自分は大丈夫とたかをくくっていたのに、気がつくとは私は母を追いつめていました。自分もいっぱいいっばいで、この先の生活が見通せない時期にグループホームから面談の連絡が来ました。

傍から見たら、介護しているうちに入らないだろうと思っていた私に、「いえ、介護していますよ。頑張っていますよ。遠慮する事はありません。私たちはその為にいます。気にする必要はないです。」と言われて、とても救われた思いがしました。

1か月後に入居が決まり、今度は母にどう伝えるかを悩む私達家族にアドバイスをくださいました。「ウソはだめです。その場しのぎになってしまいます。最後は私達の経験と知識で納得して頂ける様にやりますから、安心して下さい。」と背中を押してくださいました。現在、母も私達家族も全幅の信頼を寄せて安心して生活しています。いつも感謝です。

銅賞

メッセージを書いた方 O 様

サービス種別

メッセージの相手

大崎ホームヘルプサービス



99歳を過ぎての転倒をきっかけに、突然歩けなくなりお世話になりました。母は他者が家に入ることや排泄介助に強い抵抗と拒否がありました。私と姉だけの介護は厳しく、専門家に教えてもらいたいと母に話して納得してもらいました。職員さんには先生や看護師を演じてもらい、協力を得ました。

初めは職員さんの「明日伺います。」に「ご遠慮します。休んでください。ここに居ません。」と拒否して、どうなるか心配でした。職員さんが動じずに根気よく母に言葉をかけ続けたところ、母は「お待ちしております」と。流石プロだと感心しました。私が愚痴や人間関係等で心をざわつかせてボソッと呟くと、「分かりますよ。」と受けとめてくれ、今迄の人生や介護経験等を通じた様々な話が出来ることによって救われます。

ケアは楽しい雰囲気の中で進み、初めから終わり迄声を出し笑っています。母も褒められると嬉しく、できることの指示には元気よく「はい!」と応じています。いつも丁寧に清潔にして頂き感謝です。

在宅サービス特別賞

メッセージを書いた方 早水 芙佐子 様

メッセージの相手

ヘルパーステーション・湯〜亀

サービス種別



本年1月に室内で転倒。頭部裂傷と頸椎損傷を負いました。強い目眩いと吐気が続き、要介護3の認定を受けました。元気だった私がある日突然、介護を受ける身となったのです。往生はしたものの、私は特におしものお世話を受ける時は体が硬くなってしまうのです。

大勢のヘルパーさんのお世話になりましたが、私が長いベッド生活でこのまま終わるのだろうかという不安から、ウツっぽくなり暗くなっていた時のことです。特に長く関わってくださっているヘルパーさんが、区内数ヶ所の満開の桜や、道路に散った花びらの写真を撮ってきて見せて下さったのです。

決して多くを語らず、ソッと私のところに寄り添って下さるのです。その優しさに救われました。一本筋の通ったやさしい方です。こころの中にふみ込まず、距離をもって見守ることの出来る方です。私はこの方のようにになりたいと思っています。出会えたことに感謝。

入所サービス特別賞

メッセージを書いた方 星野 河織利 様

メッセージの相手

ロイヤルサニー

サービス種別



要介護5の母が91歳の時に特養入居が決まり、今年で2年目を迎えた。母は家を出ることを嫌がったが、母子二人でいるより、施設で栄養管理や介護の行き届いたサービスを受けるほうが生活にメリハリも出るし、家族も安心出来るからと説得した。

最初は母も慣れない環境に戸惑っていたようだが、徐々にそれにも慣れていった。毎月送られてくるモニタリング評価には施設での様子が細かく記載されており、緊急時にはすぐに連絡もくれるし、経過報告もぬかりないことで、離れていても不安を感じることがない。

認知症を患っている母のことを、施設の方は手を替え品を替え、優しく対応してくださっている様子が良く分かる。とても私一人では出来得ないことだ。日々支えて下さっているスタッフの方には、感謝してもしきれない。

そのおかげで、私も仕事を続けることができる。介護をしてくださる方がいるから、社会は回っていきけるのだ。

受賞作品以外にも、素晴らしい作品

メッセージを書いた方

野原 隆 様

メッセージの相手

品川区ヘルパーステーション

東品川第二

サービス種別



「今日はヘルパーさんが来てくれるよ」と妻に伝えると、少し微笑み髪をとかして身の回りを片付け始める。玄関ドアの音がして「こんにちは」と元気な声。「お変わりありませんか?」「ありません。」長い間の介護なので、私との会話より声に張りがある。

徐々に身体介助に移るにつれて力仕事が増えてくる。「体を動かすの、重くて大変でしょう?」と聞くと、「これが本当の仕事よ。」とサラッとかわしてくれた。こうした相手に負担を感じさせない接し方が、精神的にすごく救われる。

ヘルパーさんに変なお世話になった妻はもういない。9月17日が一周忌。今度は私が要支援でお世話になっている。介護する力はどこから生まれるのだろうか? 転びそうな子どもをとっさに助けようとする人間の本能に近い気がしてならない。介護に携わる方々には感謝しかない。お身体に気をつけて、これからもご活躍されますことを心からお祈りいたしております。

メッセージを書いた方

K 様

メッセージの相手

晴楓ホーム

サービス種別



要介護4の父と要介護3の母、認知症の両親をひとりで在宅介護していました。介護サービスは入っていたものの、仕事と家事と父母の介護に24時間明け暮れ、仕事もままならなくなっていた時に晴楓ホームを見学。相談員さんが居住スペースまで案内してくれて、「両親を施設へ預ける」具体的なイメージが描けるようになり、ショートステイを利用してようやく仕事の時間が確保できました。

自宅では手に余る両親の行動を、ショートステイの相談員さんが明るく笑って報告してくれたことで「施設で迷惑をかけているのでは」という罪悪感が軽減されました。父や母へ気軽に声をかけてくれるスタッフさん達がいることで、両親の最後の時間を私ひとりで背負わなくてもいいのかもと、肩の荷が少し下りた気がします。

現在は父が特養で穏やかに過ごし、母はショートステイを楽しんでいます。スタッフの皆さま引き続きよろしくお願いします。

メッセージを書いた方

W 様

メッセージの相手

くおりあ・湯〜亀

サービス種別



84歳の母が認知症になり、要介護1に認定された。自宅で入浴することを忘れてしまった母。入浴ができる事業所を何か所か見学をして、母が選んだのはくおりあ・湯〜亀だった。

「おはようございます!」と毎回明るく迎えに来てくれるスタッフの方。連絡帳では、私が気付かない母の疾患についてのことや、デイサービスでのいろいろな出来事などを教えてくれる。とにかくすべてのスタッフの方が愛情を持って母と接してくれることがよくわかる。私とはほとんど話すことがなくなってしまった母だが、くおりあ・湯〜亀にいる時は本来の明るくおしゃべりな母になっているようだ。

母がスタッフに「品川に越してきて良かったわ。こんなに良いお風呂があるんだもの」と話していたことを教えてもらった。私だけではその言葉を聞くことはできなかっただろう。本来の母に戻る場所ができたことに本当に感謝している。

メッセージを書いた方

久保田 かおる 様

メッセージの相手

ゆたか訪問看護ステーション

サービス種別



父が昨年春からお世話になり、家族のことも気遣っていただきいつも感謝しています。8年前に姉を亡くし、母は病弱なので介護の方々に会うまでは、私が看るものと漠然とした不安を抱えていました。そんな意識を職員の方々が変えてくれました。

昨年秋に旅行の予定と母の不在が重なり、旅行の中止を考えました。母は今まで頑張ったのだからと旅行を勧めましたが、私は娯楽目的で旅行にはいけないと思っていました。そんな時、職員さんがショートステイを提案してくれました。それでも私は旅行をするか迷っていましたが、ご家族のリフレッシュの為のものですという言葉で気持ちが軽くなり、ショートステイをお願いして旅行をしました。

帰宅後に父が「ショートステイは快適。また利用したい」と話している姿にホッとして、一人でかえこまずに時にはリフレッシュして頑張ろうと思いました。介護サービスの皆様のお陰で不安はなくなりました。本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

のご応募ありがとうございました。

メッセージを書いた方

高地 正子 様

メッセージの相手

品川区立荏原在宅サービスセンター

サービス種別



母がデイサービスに行く時、職員の皆様に「今日もよろしく願い致します。ありがとうございます。感謝です。」との思いを込めて見送っています。週3日が楽しい母は「今日はデイさん、お風呂入れるかな。あのおばあちゃんに声かけて励ましてあげるんだ。」と嬉しそうです。今はお仕事に行くように張り切っています。

このようになったのも、いつも優しく励ましなが、声をかけてくださる職員・介護士の皆様方のおかげです。本当にありがとうございます。母は幸せだと心から思います。

介護のお仕事を拝見したところ、目の前の人に優しく声をかけ、励まし、介助をされていました。そのことで母も「よし頑張ろう！」と力が湧いて、楽しくその『時』を過ごせているのだと思います。介護のお仕事は体力と忍耐と精神力が必要かと思うので、これからもお体に気を付けて頑張ってください。お世話になります。

メッセージを書いた方

N 様

メッセージの相手

品川区台場在宅介護支援センター

サービス種別



「親だから、年寄りだから、病気だから、もっと大事にしてあげなさいよ」なんて言われたら、もしかしたら事件を起こしてしまうのかもしれない。毎日、会話を繋ぐことが難しく、私の思いとは反対の行動を取る父との生活で私の心が悲鳴をあげた時、真っ先にケアマネのAさんの顔が浮かびます。

「顔を見て話をしたいです」という私の我儘を聞いて時間を取ってくださいます。介護の相談は相手によっては否定されたり責められたりして、後悔することも多々あります。しかし、Aさんは介護している私の気持ちも汲み取って、心に寄り添ってくれます。Aさんの存在は私の気持ちを軽くして、大きな心の支えとなっております。

そのおかげで、今も自宅で何とか頑張っています。この「しながわ ふれあいメッセージ」を通し、改めて介護に携わる方々に支えられていることを実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。いつか誰かを支える側になればと感じています。

メッセージを書いた方

栗原 貴美代 様

メッセージの相手

仁済 ヘルパーステーション品川

サービス種別



要介護1で89歳の父は、要介護3で91歳の母を介護しています。しかし、父は自分自身の事も出来なくなり、特に朝は腰痛で起きられない状態。そのため母の着替え、朝食の支度等がおろそかになっていました。この状況を何とかしたいと思い、ケアマネさんに相談して母のための朝介護が始まりました。

この朝介護はお正月以外の毎朝、ヘルパーさんが日替わりで来てくれて母の身支度をします。ヘルパーさんと私は会うことはほとんどないので、連絡ノートを作りました。当初はこのノートに不足する備品や特記事項があったら記入してもらうのが目的でした。ところが、忙しい中ヘルパーさんは母の様子を事細かに記入してくれたのです。

私はこのことに驚き、そして感謝。母がヘルパーさんとの会話を楽しんでいる様子が目に浮かび、私も心が和みます。朝介護のおかげで母の生活が向上したことと、この連絡ノートの思いがけない効果。ヘルパーの皆様に心から感謝しています。

メッセージを書いた方

上野山 美奈 様

メッセージの相手

デイサービス弥弥

サービス種別



私の母は8年前から、デイサービス弥弥に通所しています。週3回、毎通園バスを待つ子供のように、玄関に荷物を準備し迎えの車が来るのを待っています。お正月休み以外休むことなく、毎回決まった時間に迎えに来てくれます。先日「お盆休みはないのですか？」と久しぶりにお会いした職員さんに聞いてみたところ、職員さんは「皆さん休まないからね」と。思わず、母の顔を見て笑ってしまいました。

スタッフの方々に支えて頂きながら過ごしてくるデイの日が、母が独居で生きていく元気の源となっています。また、母のことや実家のことなど一人では解決できない問題がでると、私にも職員さんがそっと助け舟を出してくれます。私たち親子にとって、かけがえのない場所であり、そして存在です。

弥弥のスタッフの皆さん、いつも母を支えて下さりありがとうございます。そして母を通して家族を支えて下さりありがとうございます。感謝の言葉しかありません。

令和5年度 しながわふれあいメッセージ 作品集

2023(令和5)年12月 発行

品川区福祉部高齢者福祉課

〒140-8715 品川区広町 2-1-36 TEL:03-5742-6730(直通) FAX:03-5742-6881

しながわふれあいメッセージ

検索